

第102関東学生陸上競技対校選手権大会

ハーフマラソン競技実施要領

1. 競技開始時刻【大会4日目（5月14日）】

- 男子2部・3部 9：00競技開始
- 男子1部 9：06競技開始

2. 失格について

- ・1時間6分を経過してなお女子美術大学の周回コースで残り1周に達しない競技者

※周回遅れは失格とならない。

※失格は周回コース離脱点で告知する。

3. 記録の計測方法

- ・トランスポンダーを用いて計測を行う。

際どい着差の判定用に写真判定装置を作動させ、フィニッシュ付近にビデオ装置を設置することで判定。

フィニッシュ付近に総務委員（関東学連OB）を3名程度配置する。

4. ハーフマラソン競技中の役員の動き

① 仮大会本部（ハーフマラソン競技中）

② 自転車誘導（3名）

- 先頭選手（2部3部）先導：関東学連幹事

- ・2部3部の先頭をコース誘導する
- ・先頭が2部3部の選手を周回遅れにした時に、トランシーバーで全部署に報告する。

- 先頭選手（1部）先導：関東学連幹事

- ・1部の先頭をコース誘導する
- ・先頭が1部の選手を周回遅れにした時に、トランシーバーで全部署に報告する。

- 最後尾：関東学連幹事

- ・周回コース進入後より最後尾を走行する。

③ 周回記録員（20名程度）

- 周回判定

- ・周回コース離脱点で行う。
- ・ナンバーカードの色と自転車誘導が連絡するトランシーバーの報告を参照する。

※アスリートビブスの色

部門	生地色	文字色
1部	黄	黒数字
2部3部	白	黒数字

- ・失格となった選手がいる場合、審判長に伝える。

○周回表示板

- ・周回判定同様、周回コース離脱点で行う。
- ・2周目（5km 地点通過後）より（11,10,9…0）の順番で掲示する。
- ・部門別（1部・2部3部）で2台使用し、表示板の下に「1部」・「2部3部」の見出しを貼る。

④ハーフマラソン規制員（30名）+ハーフマラソン整備員（93名）

- ・コーンを用いて規制区画の設置準備
- ・コース整理、選手誘導
- ・距離表示板の掲示（1km・5km・10km・15km・20km）
- ・途中棄権者が出た際のハーフマラソン担当への連絡。

⑤給水員（20名）

- ・周回コース1地点に設ける。1部先頭1周目通過後に設置。以後競技終了まで設置機10台（水：6台 スポンジ：4台）

⑥救護（数名）

- ・大会本部後方、女子美術大学前交差点付近に救護テントを設置。
- ・担架1個、車椅子2台を配備。